

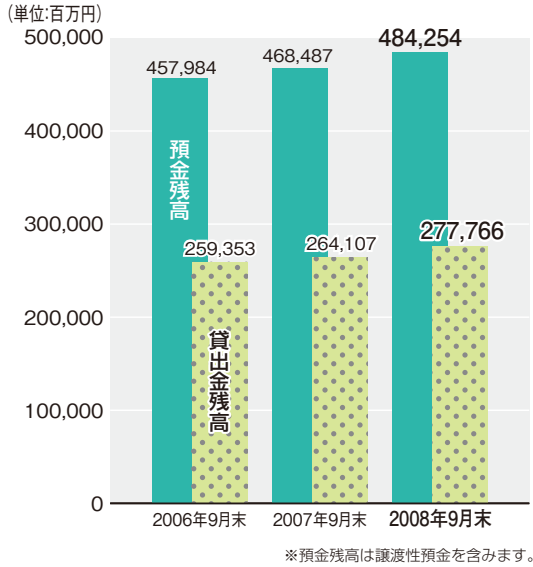


あなたにも、
ろうきん。

長野県労働金庫
中間ディスクロージャー誌 2008
～事業と財務状況のご案内～

■預金・貸出金の残高推移

2008年9月末残高は、預金484,254百万円となり、今期も順調な増加状況となっています。貸出金は277,766百万円となっています。



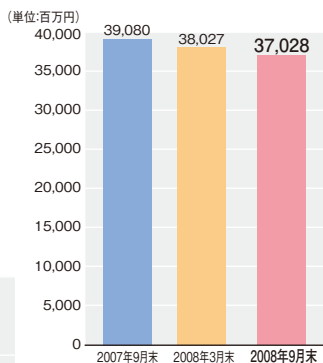
自己資本比率の高さが経営の安定性を見るポイントとなります。

■自己資本の額と自己資本比率

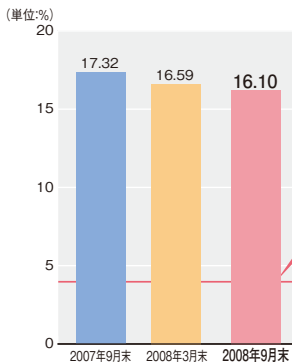
自己資本比率は、国内基準である4%を大きく上回る16.10%となりました。

自己資本の額（基本的項目）は内部留保の積立等により37,028百万円となっています。

【自己資本の額】（基本的項目）



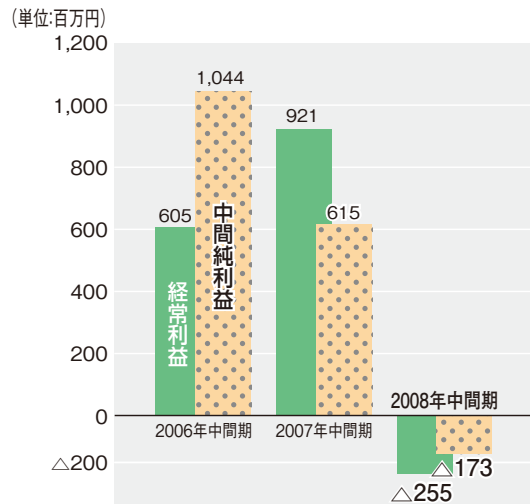
【当庫の自己資本比率】



（注）当金庫は、「労働金庫法第94条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、労働金庫及び労働金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁・厚生労働省告示第7号）」により、自己資本比率を算定しています。

■利益の推移

米国サブプライムローン問題を発端とする歴史的な金融市場の混乱が世界的に拡大する中において、保有有価証券（リーマン・ブラザーズ向け債券）償却等の処理にかかる一時的な費用計上により中間純損失（173百万円）となりました。お客様サービスを充実させつつ、業務の効率化、経費の削減に取り組み収益力の改善に努めます。



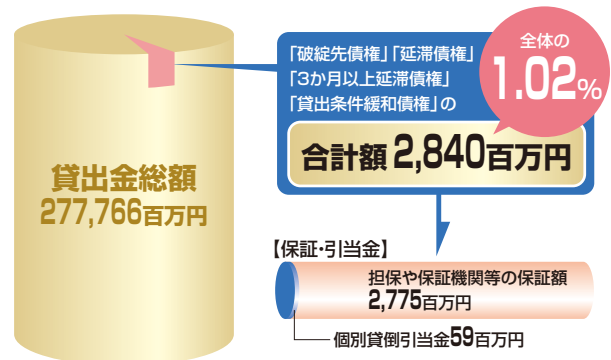
金融機関の健全性を見るには、不良債権の状況を知る必要があります。

■リスク管理債権について

●リスク管理債権

2008年9月末における貸出金の不良債権等の状況は、「破綻先債権」「延滞債権」「3か月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」の合計で2,840百万円となり、総貸出金に占める割合は1.02%という低水準を維持しています。

また、その合計額2,840百万円のうち、2,775百万円は担保や保証協会等の保証で債権の保全が図られており、債権の回収可能性を検討した結果、59百万円の個別貸倒引当金を計上し、万全の保全措置を図っています。



貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部	2007年9月末	2008年9月末
現金	3,658	3,644
預け金	81,752	90,099
金銭の信託	589	544
有価証券	151,966	142,428
貸出金	264,107	277,766
その他資産	5,273	5,536
有形固定資産	3,540	3,717
無形固定資産	7	14
繰延税金資産	1,199	2,400
債務保証見返	521	469
貸倒引当金	△65	△70
(うち個別貸倒引当金)	(△58)	(△65)
合計	512,551	526,551

(単位:百万円)

負債及び純資産の部	2007年9月末	2008年9月末
預金積金	466,373	481,679
譲渡性預金	2,114	2,575
その他負債	1,991	2,330
代理業務勘定	7	7
賞与引当金	195	186
役員賞与引当金	1	1
退職給付引当金	2,246	2,232
役員退職慰労引当金	18	19
睡眠預金払戻損失引当金	-	20
債務保証	521	469
負債の部合計	473,471	489,522
出資金	1,850	1,844
利益剰余金	37,465	37,258
利益準備金	1,851	1,847
その他利益剰余金	35,614	35,410
処分未済持分	△0	△1
会員勘定合計	39,316	39,100
その他有価証券評価差額金	△235	△2,072
評価・換算差額等合計	△235	△2,072
純資産の部合計	39,080	37,028
合計	512,551	526,551

主要な事業の状況を示す指標

(単位:百万円)

項目	2007年中間期	2008年中間期
経常収益	4,815	5,087
経常利益(△は経常損失)	921	△255
中間純利益(△は中間純損失)	615	△173
業務純益(△は業務純損失)	965	△200
純資産額	39,080	37,028
総資産額	512,551	526,551
預金積金残高	466,373	481,679
貸出金残高	264,107	277,766
有価証券残高	151,966	142,428
出資総額	1,850	1,844
常勤役員数(人)	376	375

損益計算書

(単位:百万円)

科目	2007年中間期	2008年中間期
経常収益	4,815	5,087
資金運用収益	4,604	4,805
貸出金利息	3,122	3,238
預け金利息	398	510
有価証券利息配当金	1,016	989
その他の受入利息	66	68
役員取引等収益	92	87
その他業務収益	93	189
国債等債券売却益	35	88
その他の業務収益	58	100
その他経常収益	24	4
株式等売却益	4	-
その他の経常収益	20	4
経常費用	3,893	5,343
資金調達費用	576	851
預金積金利息	571	844
譲渡性預金利息	5	7
役員取引等費用	317	318
その他業務費用	33	1,306
国債等債券売却損	32	432
国債等債券償還損	-	21
国債等債券償却	-	850
その他の業務費用	0	1
経費	2,931	2,844
その他経常費用	34	21
貸倒引当金繰入額	-	6
貸出金償却	0	0
株式等売却損	5	-
金銭の信託運用損	23	2
その他の経常費用	4	12
経常利益(△は経常損失)	921	△255
特別利益	14	2
特別損失	2	1
税引前中間純利益(△は中間純損失)	933	△254
法人税、住民税及び事業税	304	172
法人税等調整額	14	△253
中間純利益(△は中間純損失)	615	△173

主要な業務の状況を示す指標

(単位:%)

項目	2007年中間期	2008年中間期
資金運用利回	1.84	1.86
資金調達利回	0.24	0.35
資金調達原価率	1.48	1.52
資金利鞘	0.36	0.34
預貸率(未残)	56.37	57.35
預証率(未残)	32.43	29.41

※預貸率・預証率

金融機関が調達した資金(預金積金・譲渡性預金)のうち、貸出金と有価証券で運用している割合をそれぞれ表しています。

金額、比率の表示方法

- 金額単位 (1) 各表に表示した金額単位未満の端数は切り捨てて記載しています。
(2) 小計、合計等の合算は、円単位まで算出し、単位未満を切り捨てて記載しています。したがって、内訳の合計と小計欄・合計欄の金額が一致しない場合があります。
- 諸利回り・諸比率 小数点第3位を切り捨てし、第2位までを記載しています。

本誌は、当金庫の経営内容を多くの皆様にご覧いただくために、2008年9月末時点の経営情報を取りまとめご報告するものです。半期決算は法定されておりませんので、会計監査人監査の対象となりません。



働く人たちのお金を、
働く人たち自身の手で、
働く人たちのために運用する金融機関として、
長野ろうきんは1951年（昭和26年）に誕生しました。

企業のための金融機関はあっても、
働く人のための金融機関がないという当時の金融制度のなかで、
働く仲間がお互いを助け合うために
資金を出し合っにつくった協同組織の金融機関です。

ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

長野県労働金庫の概況（2008年9月末現在）

名 称	長野県労働金庫 登録金融機関 関東財務局長（登金）第268号	代 表 者	理事長 瀧澤 一夫
本 店 住 所	〒380-8611 長野県長野市泉町523番地	常勤役員数	375人（男265人、女110人）
電 話 番 号	(026) 237-3700	店 舗 数	21店舗、3出張所、 7ローンセンター
ホームページ	http://www.nagano-rokin.co.jp/	出 資 金	1,844百万円
創 立	1951年（昭和26年）12月	預 金 残 高	484,254百万円
		貸 出 金 残 高	277,766百万円

※預金残高は譲渡性預金を含みます。